

どんなに離れていてもひかれあう強い力——  
僕らはそれだけを信じていた。

そのときは

彼に

よろしく

長澤まさみ 山田孝之 塚本高史

国仲涼子 北川景子 黄川田将也 本多力 / 和久井映見 / 小日向文世

監督: 平川雄一朗 / 原作: 市川拓司 (小学館刊) / 脚本: いずみ吉紘・石井 薫

音楽: 松谷 卓 オリジナル・サウンドトラック (EPICレコードジャパン)

主題歌: 柴咲コウ「プリズム」(ユニバーサル ミュージック/キメラエナジー) / 挿入曲: iLL/ナカコー (キューンレコード) 高木正勝

製作: 島谷能成・信国一朗・亀井 修・安永義朗・久安 学・原裕二郎・井上良次・沢井和則 / エグゼクティブプロデューサー: 市川 南・藤谷一茂

企画・プロデュース: 春名 慶 / プロデューサー: 神戸 明・山中和成・川村元氣 / アソシエイトプロデューサー: 大岡大介

プロダクション総括: 金澤清美 / ラインプロデューサー: 竹山昌利 / 撮影: 坂目重友 / 美術: 磯田典宏 / 録音: 横溝正俊 / 照明: 上妻敬厚

編集: 今井 剛 / スクリプター: 鈴木一美 / 装飾: 河合良昭 / 助監督: 塩崎 進 / 製作担当: 高見明夫 / VFXスーパーバイザー: 小坂一順

音楽プロデューサー: 北原京子 / アクアリウム・アーティスト: 天野 尚 / 協力: アクアデザインアソ

企画制作: 東宝映像制作部 / 製作プロダクション: 東宝映画 / 配給: 東宝

製作: 「そのときは彼によろしく」製作委員会 (東宝・TBS・博報堂DYメディアパートナーズ・小学館・MBS・CBC・RKB・HBO)

©2007「そのときは彼によろしく」製作委員会 四角形

www.sonokare.com



残されたわずかな時間——  
その一言を彼に伝えたかった。

東宝映画

幼なじみ。13年。誓い合った夢。

運命の再会、そして別離。

— 記憶の中の大切な誰かを想うとき、  
奇蹟のプリズムが回り始める。



“この世界には、物理学の教科書にも載ってない強い力がひとつある”  
そんな目に見えない力で繋がっている人々のめぐり逢いを描いた  
市川拓司(『いま、会いにゆきます』『恋愛寫真 もうひとつの物語』)の小説が待望の映画化。



## STORY

かつて「あの町」で出逢い、小さな湖畔で遊び、将来の夢を誓い合った3人——花梨と智史と佑司。それぞれの事情で離れ離れになった13年後、3人は運命的な再会を果たす。動き出す甘美で切ないドラマ。と同時に甦る「あの町」の美しい記憶。セピア色だった思い出が鮮やかな色を帯びて再び輝き始めていく。ところが、その先にはある運命が彼らを待ち受けていた…。

幼なじみと誓い合った夢だったアクアブランツ(水草)の店「トラッシュ」を開店した遠山智史(山田孝之)。そんな「トラッシュ」にある日突然トップモデルの森川鈴音(長澤まさみ)がやってくる。とまどう智史だったが、鈴音との奇妙な共同生活を始める。何故か鈴音には懐かしさのようなものも感じていたのだ。それもそのはず、実は鈴音は離れ離れになっていた幼なじみ・滝川花梨その人だったのだ。遅れ馳せながらの再会を喜びあう智史と花梨。ところが、2人にはもう1人幼き日の親友がいた。画家になると約束していた五十嵐佑司(塚本高史)。動き出した運命は13年前の三角形のプリズムを再び回し始める。音信不通だった佑司の居場所が判明したのだ。2人は佑司に会いに行くが、再会した佑司は事故に遭いこん睡状態だった。そして時を同じくして明らかになっていく花梨の秘密。

彼女に残された時間はあとわずかだった——。

滝川花梨には『世界の中心で、愛をさけぶ』『涙そうそう』など作品ごとに女優の存在感を増す、長澤まさみ。憂いの表情を湛えた切なく美しいヒロインを大人びた仕事で演じている。遠山智史には『電車男』や『手紙』などで幅の広いキャラクター表現を巧みに演じきる、山田孝之。自分よりもまず相手の気持ちを優先してしまう優しい青年の中のひたむきな強さを繊細に醸し出している。五十嵐佑司には『タイヨウのうた』や『木更津キャッツアイ』などでの瑞々しい演技が記憶に新しい、塚本高史。画家になる夢をあきらめず、かつての友情をずっと大切に守ってきた青年を遠い眼差しと優しい佇まいで演じている。監督は『白夜行』『セーラー服と機関銃』など数々のドラマを手掛けてきた平川雄一朗。そのスタイリッシュな映像センスと深い人間ドラマの演出力で新たな感涙ラブストーリーの潮流を生み出している。音楽は『いま、会いにゆきます』『県庁の星』の松谷卓。その透明感溢れるリリカルなメロディは主人公達の心情のうつろいを的確に表現し、映像世界に更なる潤いを与えている。そして主題歌は柴咲コウ。映画にインスパイアされた歌詞を自ら書き下ろし、その後のストーリーを予感させるホープフルなロマンティックチューンが映画のラストを飾る。また、挿入曲としてiLL(元スーパーカーのナカコー)と映像・音響アーティストの高木正勝がそれぞれ温かみのあるエレクトロニカな楽曲を提供している。

映画『そのときは彼によろしく』は目には見えないけれど誰もが感じたことのある強い力、そんな力が引き起こす奇蹟の物語である。小説とは異なるラストシーンが用意する予せめ感動は、きっと観る者にかけてがえない優しい気持ちを思い起こさせてくれるだろう。眩いばかりの光に溢れる“プリズム・ラブストーリー”。その涙はきっと温かい。



# 6.2 Sat. Roadshow

フジTV前・アクアシティお台場  
シネマメディアージュ  
03 (5531) 7878  
通常料金での全席指定・定員入替制  
<http://www.cinema-mediage.com>

